



小さな行動で 変わる未来



今回の特集では、環境保全に取り組む事業者の皆さんや「プラスチックごみ」の解決に向けた授業を実施している芝山中学校の活動などを紹介します。
全社一丸となって取り組む

地球温暖化対策

芝山工業団地内のENEOSテクノマテリアル株式会社では、社内で扱うプラスチックのリサイクルなど、さまざまな環境への取り組みを実施しています。
「年間のエネルギー使用量が多い工場なので、工場内の電気を全てLEDにしたり、ボイラーの燃料を重油からガスに変えるなど、毎年1%以上のエネルギー消費削減を目指している」という従業員の皆さん。

中期環境目標(令和2~4年度)として「低炭素社会への貢献」「循環型社会への貢献」「環境保全への貢献」を重点テーマに掲げさまざまな活動を実施するなど、全社一丸となって積極的な地球温暖化対策に取り組んでいます。

出荷できない野菜の販売で

食品ロスを減らす

町内で農業を営む小川園展さんは、廃棄野菜を減らすため、昨年11月から自宅前に無人販売所を設置しています。販売されているのは、形や大きさの関係で出荷できない野菜。「安くて新鮮だと喜んでもらえたときはうれしい」と話す小川さんの販売所は、地球にも地域の方々の家計にもやさしい取り組みとなっています。

再生可能エネルギーを利用し

環境にやさしい発電を

再生可能エネルギーを活用した環境保全活動に取り組んでいるのは、空の湯などを運営する三栄メンテナンス株式会社。

末永く安心して施設を運用できるように、地中熱を利用した基礎空調を行う「ジオパワーシステム」の導入や総合ビルメンテナンスで培ったノウハウとネットワークを生かした「太陽光発電事業」などを展開しています。

環境問題の解決に向けて

私たちができること

地球上で起きているさまざまな環境問題の解決には、行政や企業の取り組みに加え、私たち個人の協力が必要です。

家庭や職場などで簡単に実践できる取り組みを3点紹介しますので、できることから始めてみましょう。

①マイバッグを利用する

マイバッグを使ってレジ袋の使用量を減らすことで、プラスチックごみが減少し、地球温暖化の解決につながります。

②食品ロスを減らす

食品ロスを減らすため、食べ切れる量だけを買ったり、買ったものはきちんと使い切るよう意識しましょう。

③ごみをしっかりと分別する

ごみの分別を行い、リサイクルできるものを増やすことで、限られた資源の有効活用と焼却や埋め立てが必要なごみの量を減らせます。

ごみ処理について学ぶ

芝山小学校4年生
10月12日、山武郡市環境衛生組合で校外学習が実施され、ごみ処理方法の説明などが行われました。



▲焼却灰を観察

分別や解体方法の説明では「こんな風に処理されているなんて知らなかった」と驚いた表情を見せた子どもたち。
内容を熱心にメモしたり、積極的に質問するなど、ごみ処理の大変さや作業時の工夫について学習を深めました。

